

奄美市再犯防止推進モデル事業概要

取組内容

NPO法人奄美青少年支援センター「ゆずり葉の郷」で関わり、無職、保護観察対象など犯罪へ繋がっていくリスクの高い者で奄美市居住者7名を対象とし、対象者のフォローアップとして、家庭訪問などによる「心のよりどころ」を含めた居場所づくりや、学習支援を含めた修学支援及び就労支援、対象者の保護者などとの面接による帰来先の確保などのフォローアップを実施した。

また、対象者が障がい者の場合は、関係機関及び事業所などと連携を図り、障がい者支援施策を活用しながら、一般企業などへの就労や就労移行支援などの訓練に繋げ、対象者の自立を図った。

事業スキーム

別紙参照

- 1 本事業対象者7名中5名が就労中
- 2 シンポジウムを開催し、市民への周知を図ることが出来た
- 3 関係機関との情報共有体制が確立できた
- 4 本事業対象者以外の事例についても、関係機関と情報共有し、支援に繋がった
- 5 事業対象者が犯罪を繰り返していない。問題が発生した際にも支援出来る体制が機能している
- 6 他自治体へ転居した対象者が奄美市再犯防止推進委員を通して支援に繋がった
- 7 本事業対象者から市相談員へ頻繁に相談が寄せられるようになった
- 8 専門機関からの協力体制が構築できた
- 9 再犯防止推進会議構成団体を増やすことで、多方面からの支援が期待できるようになった

課題

- 1 事業を実施するための対象者及び「ゆずり葉の郷」で関わったフォローアップが必要な青少年の把握に時間がかかった。
- 2 支援の実施に当たり、対象者との関係性の構築や保護者との連絡調整が難航したことにより、同意の取得に至るまでに想定よりも長い時間を要した。
- 3 問題が表面化しにくい事例への支援、障がいを持つ者に対するアセスメントの在り方
- 4 早期発見や予防への取組
- 5 離島特有の問題として、就労や修学の選択肢が少ないことから、本土に出たは戻ってくる者が少なくなく、何度奄美へ戻ってきても受け入れる支援や対象者を支援する者への支援を行う体制づくり
- 6 奄美市だけでなく近隣町村との行政区を超えての連携